



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月28日

上場会社名 富士紡ホールディングス株式会社
コード番号 3104 URL <https://www.fujibo.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3665-7612
(氏名) 井上 雅偉
(氏名) 佐々木 辰也

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	8,511	11.7	449	73.0	759	55.8	574	51.1
2023年3月期第1四半期	9,635	10.6	1,661	6.6	1,718	6.3	1,174	4.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 797百万円 (41.1%) 2023年3月期第1四半期 1,355百万円 (21.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	50.06	
2023年3月期第1四半期	102.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	60,144	43,087	71.6
2023年3月期	61,368	42,920	69.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 43,087百万円 2023年3月期 42,920百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		55.00		55.00	110.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		55.00		55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,900	8.7	1,100	67.1	1,400	58.9	900	61.0	78.46
通期	36,100	4.2	2,950	39.5	3,350	33.6	2,200	35.3	191.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	11,720,000 株	2023年3月期	11,720,000 株
2024年3月期1Q	252,581 株	2023年3月期	252,579 株
2024年3月期1Q	11,467,420 株	2023年3月期1Q	11,459,595 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの下で国内における行動制限や入出国制限の緩和等により、経済活動は緩やかに持ち直しの動きがみられました。一方で、ウクライナ・ロシア情勢の長期化や円安によるエネルギー価格や原材料価格の高騰、物価上昇など依然として先行き不透明な状況となっております。

このような経営環境の下、当フジボウグループは、中期経営計画『増強21-25』において、計画期間5年間の前半3年を「高収益体質への転換と種まき」ステージと位置づけ、各事業の成長基盤の増強に取り組んでおりますが、当期については、製造業の業況感の悪化が続くなか、事業の柱である研磨材事業は、コロナ禍で2年以上続いた市場の活況から一転、2022年半ばを境に半導体需要にブレーキがかかり、2023年前半も悪化する状況が続いております。化学工業品事業は、中国の景気減速を背景に、化学品市況が低迷し需要動向が弱まりました。生活衣料事業は、原材料の高騰に対し、製造工程でのコスト削減や価格転嫁での対応を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比1,123百万円(11.7%)減収の8,511百万円、営業利益は1,212百万円(73.0%)減益の449百万円、経常利益は959百万円(55.8%)減益の759百万円となりました。これに特別損益、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比600百万円(51.1%)減益の574百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①研磨材事業

主力の超精密加工用研磨材は、シリコンウエハー用途および半導体デバイス用途(CMP)などにおいては、世界的な需要減速を背景に、主要半導体メーカー各社がグローバル市場の急激な変化に対応すべく、在庫調整・削減の取り組みを優先しており、需要が低迷し、大きな受注減に直面しました。加えて、ハードディスク用途は、パソコンおよびデータセンター向けの需要減退により、顧客の稼働が大きく低下し受注は減少しました。また、液晶ガラス用途においてもパネルメーカーの在庫過多から顧客の減産および在庫調整の影響により受注は減少しました。

この結果、売上高は前年同期比1,376百万円(33.0%)減収の2,788百万円となり、営業利益は991百万円(91.3%)減益の94百万円となりました。

②化学工業品事業

機能性材料、医薬中間体および農薬中間体などの受託製造は、海外生産リスクの顕在化による化学工業品生産の日本国内回帰の傾向は続いたものの、半導体を含む電子材料需要減速の影響を受け、一部機能性材料ユーザーの需要減退により、受注が減少しました。

この結果、売上高は前年同期比80百万円(2.6%)増収の3,152百万円となり、営業利益は170百万円(54.1%)減益の144百万円となりました。

③生活衣料事業

繊維素材は、ウクライナ・ロシア情勢を要因とした原油価格上昇に伴う物流や原材料のコスト高と、円安に伴う部材調達や海外製造の高騰がさらなる追い打ちをかけ、厳しい環境が続きました。一方、繊維製品は、より収益性の高い製品への絞り込みに加え、多様化する顧客ニーズや市場動向に応じ、EC販売やデジタルマーケティングを強化することで、販売が堅調に推移しました。

この結果、売上高は前年同期比47百万円(2.6%)減収の1,744百万円となり、営業利益は6百万円(3.3%)増益の204百万円となりました。

④その他

化成部品部門は、医療用プラスチック市場の回復により、医療機器用部品の受注を中心に堅調に推移しました。金型部門では、2022年11月1日付で取得し連結対象となった金型子会社が貢献し、売上高が前年同期比で増加しました。貿易部門は、より収益性、安全性の高い取引に対象を絞り、収益性の精査を図るとともに、採算性の改善に取り組みました。一方、利益については、各部門とも減益となりました。

この結果、売上高は前年同期比219百万円(36.3%)増収の826百万円となり、営業利益は57百万円(88.9%)減益の7百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は前連結会計年度末に比べて1,223百万円減少の60,144百万円となりました。

流動資産は1,101百万円減少の21,901百万円となりましたが、これは棚卸資産が増加しましたが、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したことなどによります。

固定資産は122百万円減少の38,243百万円となりましたが、これは減価償却により有形固定資産が減少したことなどによります。

(負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて1,390百万円減少の17,057百万円となりました。

流動負債は1,507百万円減少の10,361百万円、固定負債は116百万円増加の6,695百万円となりました。これは、未払法人税等や設備関係支払手形などのその他流動負債が減少したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて166百万円増加し、43,087百万円となりました。これは、剰余金の配当による減少が630百万円ありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加が574百万円あったことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は、全体としては概ね予想通りに推移しているため、第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては2023年5月12日公表の数値から変更しておりません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,105	7,068
受取手形及び売掛金	8,002	7,122
商品及び製品	1,109	1,339
仕掛品	2,814	3,027
原材料及び貯蔵品	1,947	1,928
その他	1,030	1,420
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	23,003	21,901
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,091	10,999
機械装置及び運搬具（純額）	7,458	7,197
土地	13,852	13,859
その他（純額）	1,565	1,565
有形固定資産合計	33,968	33,623
無形固定資産		
のれん	1,142	1,107
その他	254	240
無形固定資産合計	1,397	1,348
投資その他の資産	3,000	3,272
固定資産合計	38,365	38,243
資産合計	61,368	60,144

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,087	3,861
電子記録債務	1,155	1,431
短期借入金	1,292	1,221
未払法人税等	709	181
引当金	727	365
その他	3,896	3,299
流動負債合計	11,869	10,361
固定負債		
長期借入金	26	—
退職給付に係る負債	4,276	4,263
資産除去債務	490	493
その他	1,784	1,938
固定負債合計	6,578	6,695
負債合計	18,448	17,057
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,673	6,673
資本剰余金	2,206	2,206
利益剰余金	31,815	31,758
自己株式	△515	△515
株主資本合計	40,179	40,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	731	888
繰延ヘッジ損益	1	3
土地再評価差額金	1,540	1,540
為替換算調整勘定	523	588
退職給付に係る調整累計額	△56	△56
その他の包括利益累計額合計	2,740	2,964
非支配株主持分	0	0
純資産合計	42,920	43,087
負債純資産合計	61,368	60,144

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	9,635	8,511
売上原価	6,198	6,147
売上総利益	3,436	2,363
販売費及び一般管理費	1,774	1,914
営業利益	1,661	449
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	27	28
固定資産賃貸料	87	82
補助金収入	—	200
その他	9	54
営業外収益合計	124	366
営業外費用		
支払利息	2	5
固定資産賃貸費用	20	21
為替差損	24	12
その他	20	16
営業外費用合計	67	56
経常利益	1,718	759
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	—	128
特別利益合計	2	128
特別損失		
固定資産処分損	32	20
減損損失	0	6
その他	—	0
特別損失合計	32	27
税金等調整前四半期純利益	1,688	859
法人税、住民税及び事業税	367	145
法人税等調整額	145	139
法人税等合計	513	285
四半期純利益	1,175	574
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,174	574

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,175	574
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48	156
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	131	65
退職給付に係る調整額	△1	△0
その他の包括利益合計	180	223
四半期包括利益	1,355	797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,355	797
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を繰り延べて処理する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	生活衣料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	4,165	3,071	1,791	9,028	606	9,635	—	9,635
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,165	3,071	1,791	9,028	606	9,635	—	9,635
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	0	—	0	△0	—
計	4,165	3,071	1,792	9,029	606	9,635	△0	9,635
セグメント利益	1,085	314	197	1,597	64	1,662	△0	1,661

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業及び化成品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、保有会社における利用計画がなく時価も下落している固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として認識しました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては0百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	生活衣料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	2,788	3,152	1,744	7,685	826	8,511	—	8,511
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,788	3,152	1,744	7,685	826	8,511	—	8,511
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	—	0	—	0	△0	—
計	2,789	3,152	1,744	7,685	826	8,511	△0	8,511
セグメント利益	94	144	204	442	7	449	△0	449

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業及び化成成品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、保有会社における利用計画がなく時価も下落している固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として認識しました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては6百万円であります。